

## 平成27年3月期 第3四半期決算短信[日本基準](連結)

平成27年2月6日

東

上場取引所

上場会社名 アイエーグループ 株式会社 コード番号 7509 URL <a href="http://www.http://ww URL <a href="http://www.ia-group.co.jp/">http://www.ia-group.co.jp/</a> 代表者

(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古川 教行

問合せ先責任者(役職名)取締役経理財務部長 TEL 045-821-7500 (氏名) 岡野 良信

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日~平成26年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	26,712	△2.7	1,240	△43.0	1,591	△33.3	992	△28.3
26年3月期第3四半期	27,445	△1.1	2,176	15.4	2,384	10.5	1,383	14.1

(注)包括利益 27年3月期第3四半期 1,003百万円 (△27.9%) 26年3月期第3四半期 1,391百万円 (15.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	115.42	<del>-</del>
26年3月期第3四半期	159.13	_

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	34,416	14,253	41.4
26年3月期	28,272	13,647	48.3

27年3月期第3四半期 14,253百万円 26年3月期 13,647百万円 (参考)自己資本

## 2. 配当の状況

		年間配当金								
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計					
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭					
26年3月期	_	12.00	_	18.00	30.00					
27年3月期	_	12.00	_							
27年3月期(予想)				12.00	24.00					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日~平成27年 3月31日)

								(%表	示は、対前期増減率)
	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	36,000	△0.1	850	△62.0	1,300	△48.7	750	△47.2	86.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無新規 —社 (社名) 、除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更② ①以外の会計方針の変更③ 会計上の見積りの変更※ 無④ 修正再表示: 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(その他)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	10,126,800 株	26年3月期	10,126,800 株
27年3月期3Q	1,641,587 株	26年3月期	1,462,611 株
27年3月期3Q	8,595,920 株	26年3月期3Q	8,696,801 株

# ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

スピーカレビューティックスが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際 の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# ○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1)連結経営成績に関する定性的情報 (2)連結財政状態に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報	2
2.	サマリー情報(その他)に関する事項	3
	(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3.	四半期連結財務諸表	4
	(1)四半期連結貸借対照表 (2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (3)継続企業の前提に関する注記 (4)セグメント情報等 (5)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
	(J)/	С

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1)連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、原油価格下落の影響や政府による経済政策や金融政策などにより緩やかに回復基調がみられた一方、依然として消費税増税による駆け込み需要の反動などにより景気回復の遅れが顕著に見られました。先行きに関しても慎重な見通しが必要な状況が続いております。

このような中、当社グループは基幹事業であるカー用品事業及びブライダル事業を中心に、厳しい事業環境の 中で推移しました。

カー用品事業につきましては、平成26年5月に株式会社オートバックス神奈川の株式取得を行い連結子会社化し、神奈川エリアにてオートバックス3店舗・スーパーオートバックス1店舗を取得致しました。タイヤ預かりサービスの専用倉庫を神奈川エリアに3拠点・岐阜エリアに1拠点建設し、車検やメンテナンスなどのピットサービス部門及び車販売の強化を致しました。その結果、増収となりましたが、既存店の売上減少や株式取得に伴う経費の増加が影響し、減益となりました。

ブライダル事業につきましては、大阪府大阪市にアルカンシエルリュクスマリアージュ大阪を平成26年8月に グランドオープン致しました。駆け込み需要の反動や競合他社との競争の激化などの市場環境の中、既存式場の 改装等、集客・成約の改善に努めましたが、減収減益となりました。

建設不動産事業につきましては、保有物件の積極的売却を行いまた効率経営の徹底化を図りましたが、減収減益となりました。

またコンピューターソフト事業においては、7月末日をもって株式会社トランザスに事業譲渡を行いました。 以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は26,712百万円と前年同期比2.7%の減収となり、営業利益に つきましては1,240百万円と前年同期比43.0%の減益となりました。経常利益につきましては1,591百万円と前年 同期比33.3%の減益となり、純利益は992百万円と前年同期比28.3%の減益となりました。

## (2)連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、34,416百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,144百万円の増加となりました。

なお、純資産は14,253百万円となり、前連結会計年度末に比べ605百万円の増加となりました。 自己資本比率は41.4%となり、前連結会計年度末に比べ6.9ポイントの減少となりました。

#### (3)連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成26年11月7日に公表した通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

特定子会社に該当致しませんが、平成26年5月1日に株式会社オートバックス神奈川の全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。なお、同社は平成26年10月1日に株式会社アイエーと合併致しました。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計 適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法 人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、計算に用いる割引率を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率に変更しております。

なお、この変更に伴う期首の利益剰余金並びに損益に与える影響はありません。

# 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1, 458, 898	2, 964, 652
売掛金	1, 401, 984	2, 019, 945
たな卸資産	5, 599, 569	6, 336, 968
繰延税金資産	537, 270	572, 842
その他	906, 183	779, 833
貸倒引当金	△21, 036	△13, 743
流動資産合計	9, 882, 870	12, 660, 497
固定資産	·	
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6, 553, 125	8, 709, 294
土地	4, 487, 785	5, 030, 766
建設仮勘定	1, 090, 967	664, 933
リース資産 (純額)	335, 193	359, 960
その他(純額)	297, 452	518, 341
有形固定資産合計	12, 764, 525	15, 283, 296
無形固定資産	_	
のれん	_	370, 649
その他	93, 200	88, 957
無形固定資産合計	93, 200	459, 606
投資その他の資産		
投資有価証券	215, 302	223, 074
長期貸付金	36, 123	25, 790
長期前払費用	499, 867	501, 591
差入保証金	3, 787, 378	4, 250, 568
繰延税金資産	896, 208	907, 263
その他	124, 469	128, 452
貸倒引当金		△23, 279
投資その他の資産合計	5, 531, 798	6, 013, 462
固定資産合計	18, 389, 524	21, 756, 365
資産合計	28, 272, 394	34, 416, 862

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1, 601, 799	3, 743, 592
短期借入金	2, 975, 195	4, 897, 160
未払法人税等	782, 388	119, 354
未払消費税等	96, 451	92, 178
未成工事受入金	48, 685	12, 093
賞与引当金	362, 446	195, 699
役員賞与引当金	131, 800	_
ポイント引当金	207, 486	187, 656
繰延税金負債	96, 424	89, 229
その他	2, 219, 912	1, 793, 618
流動負債合計	8, 522, 589	11, 130, 581
固定負債		
長期借入金	3, 603, 446	5, 966, 885
長期預り保証金	935, 502	1, 259, 922
退職給付に係る負債	337, 471	336, 820
役員退職慰労引当金	150, 000	187, 500
資産除去債務	827, 854	1, 019, 200
繰延税金負債	22, 093	22, 262
その他	226, 261	240, 649
固定負債合計	6, 102, 628	9, 033, 240
負債合計	14, 625, 217	20, 163, 822
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 314, 100	1, 314, 100
資本剰余金	1, 824, 791	1, 824, 791
利益剰余金	11, 284, 347	12, 017, 651
自己株式	△803, 525	△942, 340
株主資本合計	13, 619, 712	14, 214, 201
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30, 171	41,505
繰延ヘッジ損益	△2, 707	△2,666
その他の包括利益累計額合計	27, 464	38, 838
純資産合計	13, 647, 176	14, 253, 040
負債純資産合計	28, 272, 394	34, 416, 862

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
売上高	27, 445, 324	26, 712, 385
売上原価	16, 116, 036	15, 391, 678
売上総利益	11, 329, 287	11, 320, 706
販売費及び一般管理費	9, 152, 771	10, 080, 387
営業利益	2, 176, 516	1, 240, 318
営業外収益		
受取利息及び配当金	18, 802	23, 963
受取手数料	59, 392	61, 097
受取家賃	73, 339	74, 158
その他	118, 499	261, 448
営業外収益合計	270, 033	420, 667
営業外費用	•	
支払利息	43, 916	43, 592
その他	17, 802	26, 280
営業外費用合計	61, 718	69, 873
経常利益	2, 384, 831	1, 591, 113
特別利益		
事業譲渡益	_	70, 000
固定資産受贈益	_	28, 445
固定資産売却益	_	1,863
国庫補助金	1,830	6, 799
負ののれん発生益	73, 467	_
特別利益合計	75, 297	107, 108
特別損失		
事業撤退損	56, 158	36, 072
店舗閉鎖損失	40, 880	_
減損損失	10, 063	—
固定資産除却損	3, 114	5, 959
固定資産圧縮損	1,830	6, 799
固定資産売却損	830	_
その他	1,699	416
特別損失合計	114, 576	49, 248
税金等調整前四半期純利益	2, 345, 552	1, 648, 973
法人税等	961, 608	656, 830
少数株主損益調整前四半期純利益	1, 383, 943	992, 142
四半期純利益	1, 383, 943	992, 142

# (四半期連結包括利益計算書) (第3四半期連結累計期間)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1, 383, 943	992, 142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7, 431	11, 333
繰延ヘッジ損益		40
その他の包括利益合計	7, 431	11, 374
四半期包括利益	1, 391, 375	1, 003, 516
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1, 391, 375	1, 003, 516

(3)継続企業の前提に関する注記 該当事項はありません。

### (4)セグメント情報等

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

		報告セグメント			その他		調整額	四半期連結
	カー用品 事業	ブライダル 事業	建設不動産 事業	計	(注)1	合計	(注)2	損益計算書 計上額(注)3
売上高 外部顧客への売上高	15,020,056	7,975,650	3,740,068	26,735,775	709,548	27,445,324	_	27,445,324
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,637	497	192,684	195,819	1,155,450	1,351,270	△ 1,351,270	_
計	15,022,694	7,976,147	3,932,753	26,931,595	1,864,998	28,796,594	△ 1,351,270	27,445,324
セグメント利益	752,250	878,730	479,844	2,110,825	60,355	2,171,181	5,335	2,176,516

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンピュータソフト事業、 ゲームソフト事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。
  - 2. セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。
  - 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「建設不動産事業」において、株式会社エフ・エム・クラフトの株式を取得したことに伴い、負ののれん発生益を計上しております。

なお、当該事象における負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期累計期間において、73,467千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

							\	十四.111
	報告セグメント				その他		調整額	四半期連結
	カー用品 事業	ブライダル 事業	建設不動産 事業	計	(注)1	合計	(注)2	損益計算書 計上額(注)3
売上高 外部顧客への売上高	16,398,051	7,597,670	2,085,540	26,081,262	631,123	26,712,385	_	26,712,385
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,058	286	752,308	756,652	1,085,179	1,841,832	△ 1,841,832	
計	16,402,109	7,597,956	2,837,848	26,837,914	1,716,302	28,554,217	△ 1,841,832	26,712,385
セグメント利益	610,278	399,530	243,491	1,253,299	3,719	1,257,019	△ 16,700	1,240,318

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンピュータソフト事業、 飲食事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。
  - 2. セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。
  - 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「カー用品事業」セグメントにおいて、株式会社オートバックス神奈川を連結子会社化したことに伴い、当第3四半期連結累計期間において、のれんが425,710千円発生しております。なお、同社は平成26年10月1日に株式会社アイエーと合併致しました。

(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 該当事項はありません。